

社会資本総合整備計画												事後評価書		令和07年03月31日	
計画の名称	高崎駅周辺地区を中心とした交流創造都市の推進（重点計画）														
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	高崎市														
計画の目標	・本市は新幹線や高速自動車道等の広域ネットワークの結節点にあり、高崎駅は多岐の鉄道バス路線が乗り入れる県内随一の広域交通ターミナルである。高崎駅周辺市街地では、区画整理事業による基盤整備と市街地再開発事業による建築物整備、高崎アリーナや高崎芸術劇場、Gメッセ群馬といった集客施設の整備が進み、駅東西に民間による商業施設・マンションの建設、地区内人口及び歩行者数増、高崎駅の乗員人数増、地価の上昇といった整備効果が発現している。 ・高崎市都市計画マスタープランにおいて目標としている「交流創造都市」を実現し、都市の魅力を高めることで、人口減少社会の中においても都市機能が持続可能であるよう、広域交流人口及び居住人口の増加を目指す。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		284	A	284	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / （A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R1当初	R3末	R6末
1	歩行者・自転車通行量を維持する。 中心市街地の14地点において、10時から20時までの歩行者・自転車通行量を調査する	159734人/日	159734人/日	159734人/日
2	JR高崎駅の乗員人数を維持する。 JR高崎駅の乗員人数を把握（JR東日本発表の1日平均乗車人員）	32169人/日	32169人/日	32169人/日
3	地区内の居住人口を維持する。 中心市街地における居住人口を把握（住民基本台帳）	8303人	8303人	8303人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
「高崎駅周辺地区を中心とした交流創造都市の推進」と一体的に実施するものであり、総合的に計画を進めることによる目標値である。												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	高崎市	間接	民間	-	-	市街地再開発事業	高崎駅東口栄町地区 RC造(一部S造)27F	高崎市	■	■	■	■	■	284	1.02	-	
											小計						284			
											合計						284			

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

高崎市で実施する

事後評価の実施時期

令和7年3月

公表の方法

高崎市のホームページで公表する

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

市街地再開発事業・優良建築物等整備事業について、関係権利者等との協議に不測の日数を要したため、当初計画どおりに事業進捗を図ることができず、効果発現に至らなかった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

本事後評価では、事業延期等により効果発現が十分になされていないものの、民間活力等により中心市街地における人口の増加や交流人口の維持が確認された。今後、2期計画において、本整備計画からの継続地区の事業を進め、高崎駅乗員人数、交流人口及び居住人口の増加を目指す。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	歩行者・自転車通行量		
	最 終 目標値	159734人/日	本計画には載せていないが、本市で行っている都市再生整備計画に記載しているまちなかオープンカフェ推進事業等のソフト事業等の効果もあり、通行量は目標値に届かなかったもののある程度維持されていると考える一方、さらなる賑わいの波及には至らなかったのは交付対象事業が本計画期間内で未完了であったことが要因と考える。
	最 終 実績値	159640人/日	
2	ＪＲ高崎駅の乗員人数		
	最 終 目標値	32169人/日	高崎駅を中心とした市街地再開発事業・優良建築物等整備事業による施設整備が計画期間内で完了せず、目標値には届かなかった。コロナ禍を経て、変化した市民の生活様式が完全に戻っていないことも影響していると推察する。
	最 終 実績値	30469人/日	
3	地区内住民基本台帳人口		
	最 終 目標値	8303人	本計画期間内で交付対象事業が完了していないものの、中心市街地で民間マンションが次々と建設されたことに伴い、中心市街地における人口は増加となり目標を達成した。
	最 終 実績値	8787人	